

# 半導体産業 光る人材を

## 熊本高専と台湾の大学 研究など連携 覚書締結

熊本高専と台湾の「国立成功大学スマート半導体及び永續製造学院」は9日、半導体分野の共同研究や人材交流などを進める覚書を締結した。菊陽町への台湾積体回路製造（TSMC）進出を受け、連携を加速させるという。

成功大学は2021年度、半導体研究に取り組む製造学院を台南市に新設。半導体技術を学ぶ修士と博士課程がある。訪問した熊本高専の教員によると、TSMCの半導体製造装置を配備して研究を進めている。

19年頃からの双方の教員の交流が基となり、覚書締結に至った。両者は、覚書で学生や教員を派遣し合い、共同での研究やワークショップに取り組むことを確認した。

合志市の熊本高専熊本キャンパスで調印式があり、高松洋校長は「熊本と台湾の交流が盛んになる中での覚書締結はうれしい。教育面で半導体産業に貢献したい」。成功大学の蘇炎坤（ソエン）学院長は「交流が活発となることを願っている」と応じた。（豊田宏美）



人材交流などを進める覚書に調印した台湾成功大学の蘇炎坤学院長（左）と熊本高専の高松洋校長  
＝9日、合志市